

# 知って防ごう！

## 高齢者虐待

65歳以上の高齢者に対して、養護者（高齢者を養護する家族、親族、同居人など）、養介護施設従事者（介護サービス事業所や介護保険施設・老人福祉施設の職員など）による、次のような行為を「高齢者虐待」といいます。



### 高齢者虐待（5つの分類）

1

#### 身体的虐待

身体を傷つけたり、必要以上に動けなくすること

2

#### 心理的虐待

脅したり、失礼な言葉や態度、無視、嫌がらせにより苦痛を与えること

3

#### 介護等放棄

身の回りの世話をしないことにより健康を損なわせること

4

#### 性的虐待

性的なことをしたり、無理にさせたりすること

5

#### 経済的虐待

勝手に、財産、年金を使ったり、金銭の使用を理由なく制限すること



### 高齢者虐待はどうして起きるの？

高齢者虐待が起きる背景には、さまざまな要因があります。

例：▼介護や認知症に関する家族・親族の無理解・無関心▼介護負担の増加▼虐待者と高齢者の人間関係▼希薄な近隣関係・社会からの孤立

虐待を受けている人だけではなく、虐待をしている人にも支援が必要なこともあります。自覚がなく虐待をしている場合や、認知症や介護に対する知識の不足が、虐待につながってしまうこともあります。

### 虐待かな？と思ったら相談を



高齢者虐待を  
発見した人、  
虐待を受けた人...

虐待を発見したとき、虐待かなと思ったとき、または虐待を受けたときは、町地域包括支援センターへ連絡をお願いします。連絡をした人の情報は守られます。（守秘義務）  
連絡を受けたら、事実確認のため訪問などによる調査を行い、虐待解決のために対応します。

【相談窓口】町地域包括支援センター（電話 72-0339）

### 高齢者虐待を予防するために！

#### 介護負担の軽減、相談窓口の活用

1人で、家族だけで介護の負担を抱え込まずに、介護サービスや相談窓口を活用して、介護の負担を減らすことが大切です。

#### 虐待が起こらない地域づくり

近所に気になる高齢者や介護をしている人がいたら、見守りや声かけをお願いします。困っている高齢者や家族の人には、地域包括支援センターなどへの相談を勧めましょう。地域の見守りや声かけ、仲間づくりが虐待の予防につながります。



日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

### 带状疱疹の原因 水ぼうそうのウイルス

「胴巻き」と聞いただけで痛そうですよ。高齢者によくみられる病気で、正式には带状疱疹といいますが、その原因は何かご存じですか。子供のころに罹った水ぼうそう（水痘）のウイルスが原因です。

小児期に水痘ウイルスが感染すると、発熱とともに全身に水疱を形成しますが、ウイルスに対する免疫ができる」と治癒していきます。

しかし、このウイルスはとてもしぶとくて、体中のウイルスは倒されても、神経の中に隠れて何十年の間、再起を期して耐え忍んでいます。そして、人間が

高齢化し免疫が弱くなると、再び神経の中から带状疱疹として姿を現し、人間を苦しめます。

さらに執念深いことに、治療が遅れると神経を破壊して神経痛がずっと続くこととなります。まるで神経の中に閉じ込められた長年の恨みを晴らすかのように。このウイルスはどこの神経にも潜みますので、神経痛だけではなく、顔面麻痺や難聴、めまいなどを起こすこともあります。

### 免疫低下で発症 がんの可能性も

では、どのような時に带状疱疹が起こるのでしょうか。

前述のように、何らかの原因で免疫が低下して発症します。免疫が低下する主な原因は、加齢、過労、ストレス、免疫抑制剤の使用、悪性腫瘍の合併です。免疫が高度に低下すると、小児期の水痘のように全身に水疱ができて重症化します。

ここで最も気をつけないといけないのは、体のどこかにがんが潜んでいるかもしれないことです。带状疱疹

疹を発症したときは、带状疱疹の治療を行うとともに、どこかに悪性腫瘍が隠れていないか検査を受けてください。肺がん、胃がん、乳がんなど頻度の多いがんだけでなく、白血病や悪性リンパ腫などの血液系の腫瘍も重要です。

### 執念深い水痘ウイルス 徹底的な対策を

带状疱疹後神経痛が起らないようにするには、できるだけ発症早期に抗ウイルス薬を内服すること、带状疱疹を発症しないようにワクチンをあらかじめ接種しておくことです。

抗ウイルス剤の内服が1日遅れただけで、何年も神経痛に悩まされることにな

りかねません。带状疱疹を疑ったら、すぐに皮膚科や内科に受診しましょう。

带状疱疹ワクチンは、自費診療で2回接種（16,500円×2回）の費用がかかります。ワクチンの予防効果は50歳以上で97%、70歳以上で90%と報告されています。その効果は少なくとも10年は持続します。一度带状疱疹を発症した人は、再発しないようにワクチン接種をお勧めします。

しぶとい、執念深いウイルスには徹底的な対策が必要です。ワクチンの相談は、日野病院の皮膚科、内科にご相談ください。

